



FUKUOKA
FOREIGN
TRADE
ASSOCIATION



第38号

福貿ニュース

福岡貿易会情報誌

九州－欧州を最短でつなぐ?! フィンエアー福岡就航!



今年1月、唯一の欧州－福岡便だった「KLMオランダ航空」が運休。国際都市を標榜する福岡として、大変残念なことだなあ、との悲しみも束の間。なんと、とても便利かつ短時間なヘルシンキ乗り継ぎで、欧州各国へも最短で行ける、極めて利便性の高いフィンエアー「ヘルシンキー福岡」便が就航。その初便が5月8日福岡空港に到着した。10月までの夏ダイヤ期間中、週3往復の夏季定期便として運航する。

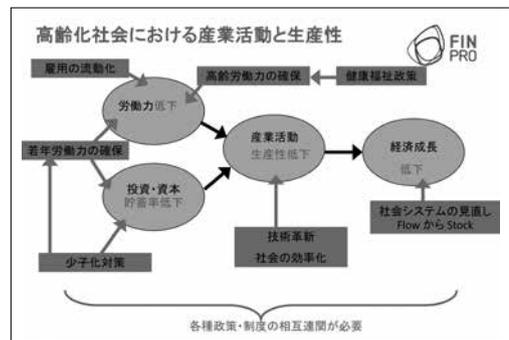
当会では、この極めて使い勝手の良い欧州便のビジネスでの活用を促進し、貴重な国際路線の利用促進・維持に資するため、就航を目前に控えた3月17日、福岡で「福岡－ヘルシンキ就航記念シンポジウム フィンランド×九州－ビジネスをデザインする」を、福岡アジアビジネス支援委員会と共に開催した。当初予定を大幅に超える約120人の観客数は、九州唯一の欧州路線に寄せる期待の現れだろう。



第1部トークセッションでは、日本フィンランド政府観光局日本代表、能登重好氏、フィンランド大使館上席商務官、木村正裕氏、フィンランド航空福岡支店長、堀田博之氏、山口県立大学大学院国際文化学専攻長/教授、井生文隆氏、4名にご登壇いただいた。

能登様からは、フィンランドの四季折々の風景と食や文化などの魅力について、木村様からは「フィンランドの産業とその背景」と題し、基本情報から、歴史や文化的アイデンティティーさらには、社会・産業構造、高齢化社会の課題解決や構造改革等、幅広い内容を、堀田様には、フィンエアーの特徴、特に欧州各地へのハブ空港として、ヘルシンキがいかに優れているか、乗り継ぎの利便性や福岡からの飛行時間の短さなど、北欧だけでなく欧州とのビジネスにこそ使い勝手の良いフィンエアーの利用価値についてお話いただいた。第1部最後の井生様には、美しい写真による北欧の優れたデザインの紹介から、日本の郷土の資源、独特の素材である葦や竹などを用い、フィンランドでデザインするといった、地方都市とヘルシンキとのコラボレーションもご紹介いただき、その生活に根ざした無駄の無い実用的かつ、シンプルで美しい家具・調度品のデザインに魅了された。

第2部は、今ではすっかり広まったオーロラツアーの仕掛け人や、アイスホテルの創立メンバーとしても知られる、関西日本・フィンランド協会事務局長、坂田文保氏のコーディネートによるパネルディスカッション。日本の地方に埋もれる資源、例えば久留米餅とマリメッコのコラボレーションの事例や、い草など九州独自素材の可能性、またフィンランド人の日本人に対する信頼の強さがビジネスを進める上での好条件となること等、今後のビジネス推進を後押しするような議論が繰り広げられた。



第51回通常総会・会員交流会・中国経済セミナーを開催

5月31日(火) 17:30から、第51回通常総会を天神スカイホールで開催した。総会には120名以上の会員の皆さまにご出席いただき、事務局から平成27年度の事業報告および収支決算報告、役員を選任等の議案説明がなされ、提案された議案については、全会一致で承認された。また、議案の審議後には事務局から今年の事業計画および収支予算等について報告、説明が行われた。

さらに、今年度は当会では初の試みとして、総会前にセミナーを開催した。日本銀行北九州支店長の福本智之氏をお招きし、最新の中国経済事情についてお話しいただいた。1時間弱の短い時間で、産業構造の変化や、投資分野の変動、住宅市場の動向などの多岐にわたるデータから、今後の中国経済を占う手腕がとても見事で、普通なら大変難しい内容が、様々なグラフの活用などにより、とても解りやすいものとなっていた。125名の参加者の多くから賞賛の声があがっていた。

セミナー、総会に引き続いて会員交流会が開催され、福岡市、国、福岡県などの行政機関のほか、在福の外国公館や貿易機関からも来賓として多数ご参加いただいた。ご来賓および新規ご入会の会員様(当日ご参加7社)も合わせて、皆様の交流がより一層深まる好機となったのではないだろうか。





(公社) 福岡貿易会上海代表処
 所長 奥田 聖

「中国の景気が減速している…」これは、もはや日本では枕詞として語られる言葉になった。スピードという意味では確かに「減速」中だ。しかし、上海で見ていると、中国人の消費は依然として旺盛だ。一部が飛び火して日本で「爆買い」も生んだ。したがって、もはや中国ビジネス上にリスクしかないという極端な見方には違和感がある。実際の現場ではどのような状況なのだろうか？「珠江デルタ経済圏」の要である香港・深圳・香港へ福岡貿易会の甲斐専務と共に飛ぶことにした。

珠江デルタ経済圏は、広州を流れる珠江の三角州に広がる経済圏であり、広州、深圳、珠海、東莞、中山といった都市に、香港、マカオが加わり構成されている。世界中の名だたるメーカーが集積し、「世界の工場」と呼ばれている。広東省のGDPは11,035億ドル(2014年、以下同じ)、香港は2,909億ドルである。合計値は、日本のGDP46,024億ドルの約1/3、国としては世界第13位の韓国とほぼ同規模まで成長した。2015年は更に前年比+8%の成長を遂げている。これが、珠江デルタ経済圏の基礎データである。

この地域の経済発展には、自由貿易港である香港の持つ特殊性を抜きには語れない。厳しい輸入制限と関税を課している中国本土に比べると、香港は極めて対照的である。それは、近年、日本の農産物の香港への輸出攻勢という形で表れている。現在、福岡市では、唐泊の恵比須かきの輸出に取り組んでいる。恵比須かきは、現状、出荷可能な量に限界がある。しかし、味には定評がある。そこで、品質の良い高級食材としてのブランド化を図っている。恵比須かきのPRの現場に参加させてもらったところ、高級レストランの関係者が口を揃えて太鼓判を押していた。現在、香港の高級ホテルのレストランで食材の一部として提供されている。輸出しやすいということは、日本の業者間での競争も激しいということである。輸出すれば売れるというものでもない。輸出した後、どのような戦略を考えておくのか、これは非常に重要なことである。

香港といえば、気になるのが、港灣の取扱量が下がっているという話である。取扱量が2015年には対前年比で9.5%減少し、世界第4位から第5位に減退した。隣にある世界第3位の深圳港の整備が進むにつれ、その機能が移っているというのであ



香港で恵比寿かき試食会

る。その深圳港を、山九東源国際(香港)有限公司の井上マネージャーに案内していただいた。深圳港は見るからに大きな港であるが、更に拡張が続いている。香港への影響について聞くと、井上マネージャーの回答は、「珠江デルタ経済圏の工場では、一般的に輸入してくる部材は小口でアイテム数が多い。仕出し地も多様である。したがって、部材は輸入手続きが簡単な香港に優位性がある。それに対して完成品はアイテム数が少なく量が多い。仕向け地もある程度限定される。深圳港へのインフラも整備されアクセスも向上した。したがって、深圳港の利用も増えている。しかし、香港の役割はなくならないだろう」ということで



深せんコンテナターミナル

あった。非常に納得した。

しかし、中国本土から見た場合、香港から陸送で輸入できる深圳のメリットは大きい。深圳で今年5月頃に完成予定の「万国食品城」を訪問した。ここは、輸入食品のみを扱う常設の展示場である。総面積55万㎡という巨大な施設の中には日本の食品を扱う日本館も予定されている。ここには中国全土から食品関係のバイヤーが集まるようになるだろう、と関係者の鼻息は荒い。経済の変化と共に、深圳でも新たなビジネスが生まれている。

そして広州。2015年4月に広州、深圳、珠海の一部がまとめて広東省自由貿易区として設立された。広州の自由貿易区エリアである南沙区で自由貿易区に関する説明を聞いた。広東省の自由貿易区は、香港、マカオとの連携にポイントがある。しかし、説明を聞いている限り、上海の自由貿易区と同様の施策も多く、独自性を出していく具体的な策はこれからといった印象であった。しかし、南沙区内には既に広州で初



広東省自由貿易区内にある越境 EC 実態店

となる越境ECの実店舗がオープンしていた。この店舗の特徴は、越境ECのサイト運営会社が実店舗でも開発会社となり、サイト上の店舗が、テナントとして実店舗を構えている点にある。したがって、似たような店舗が施設内に並んでいる。店舗に入ると、一般貿易の商品と、越境ECの商品が分けられて販売されている。越境ECの商品は、お金を払っても商品は持ち帰れない。保税倉庫から後日郵送されてくる。保存期間が長く、少し高額な商品が越境ECの商品として選ばれているという印象であった。



広州山九物流有限公司の華南物流センター

また、順徳にある広州山九物流有限公司の華南物流センターも見学させていただいた。敷地面積8.8ha、倉庫面積4.1ha。広い。その広い倉庫内には、主に日系企業の製品であふれている。聞けば、ほとんどは国内輸送だそうだ。現地で生産する部材を集め、完成品を中国全土に配送する。当然だが製造業の現地化が進むと貿易が減る。倉庫の面積はどんどん足りなくなっているという。ジェットロ広州を訪問した際、「広東省の日系企業は概ね好調です」と言われた言葉が頭をよぎった。ジェットロの2015年の日系企業実態調査によれば、広東省の日系企業のうち68.8%が黒字、大企業だけに絞ると黒字が77.4%、赤字はわずか9.5%である。拡大もしくは現状維持と考えている企業は、84.3%、縮小もしくは移転・撤退を考えている企業は15.7%である。人件費の高騰により製造拠点としての中国の優位性は失われつつあるが、内販への移行、コストカットなどに成功している企業は、好調を維持しているようだ。国内物流で活況を呈している山九の物流倉庫を見ていると、そうしたデータが裏付けされているようであった。

さらに、広州が新しく開発している中新知識城（広州ナレッジシティ）も視察した。これは、広東省とシンガポールの共同プロジェクトとなる。計画面積は123km²。宗像市と同じくらいの広さがある。広東省が進めている知識型産業育成の一大拠点として期待されている。ここでは、①スマートシティ、②エコシティ、③ラーニングシティという三つの目標を掲げ、製造業ではなく、研究開発、IT、バイオ、スタートアップ、健康産業

などを中心に誘致が進められている。将来的には50万人が暮らす計画である。シンガポールとの共同開発という点、江蘇省の蘇州工業園区が思いつく。いまや蘇州工業園区は高層ビルが立ち並んでいる。ここもやがてそうなるのだろうか。広州は、まだまだ発展を続けている。

では、市民生活はどうだろう。広州を代表する旅行社の「広之旅」と「羊城之旅」の2社を訪れた。広州は金持ちも多く、海外旅行は人気である。日本旅行は好調ということだ。もちろん、数としては東京や大阪が圧倒的であるが、ボリュームゾーンである40代～50代のお客は、リピーターが多く、人が少ないところを好む、という特徴があり、そうしたお客には九州旅行が人気ということであった。また、広州市では、福岡のラーメン店が進出し、非常に人気を集めている。こうしたことから、福岡に行って、本場の味を味わってみたいというお客も増えているということであった。

最後に、広州では、広東省旅游職業技術学校と広州市西関外国語学校という二つの学校で、福岡市を紹介する講義を行った。広東省旅游職業技術学校は、観光業に携わる人材育成を行う専門学校、広州市西関外国語学校は高校の内から本格的な外国語教育を行うことに定評ある高校である。福岡市と広州市の友好都市の歩みを含め、福岡市の食や観光地を紹介すると、これから広州で日本との懸け橋になっていくだろう若い学生たちの目がキラキラと輝いた。経済失速に対する悲壮感などみじんも感じられない。

中国は14億人市場と言われる。それ故に、くしゃみ一つの影響力が大きい。経済成長率は今後も鈍化していくと見込まれているが、それでも14億人が生きている以上、ビジネスは存在する。少なくとも広東省では、人々がまだまだ元気に見えた。世の中は時代によってどんどん変化をする。その変化の先にビジネスを見つけられるかどうか、それは日本でも中国でも、どこでも変わらない。



福岡市の講義を受ける広東省旅游職業技術学校の学生達

私は、1996年から98年、いわゆる第1次ベトナム投資ブームの時代に、商社の駐在員としてベトナム・ホーチミンシティに赴任しました。それ以来、20年なんだかんだと腐れ縁のように関わり続けています。当時とは、隔世の感があるほど、表面的には別の国のようにベトナムは発展して変わって来ました。

日本と同様にベトナムも中国周辺国という地政学的な宿命を抱えています。そのような共通するリスクもあり、日越両国は、戦略的パートナーシップという極めて良好な外交関係を維持しています。

2015年10月、TPP協定(Trans-Pacific Strategic Economic Partnership Agreement:環太平洋戦略的経済連携協定)が大筋で合意されました。悪戯にネガティブに脅威を感じるのではなく、積極的に、これを機会と捉えて活用するためのポイントをごく要点だけ簡単に、特に**TPP参加国で最も影響**を受けて得をすと言われている**ベトナムを中心**にまとめてみます。

TPPの3大特徴

① 大きな経済規模

TPPはEPA(経済連携協定)の1つではあるが、従来締結してきたEPAに比べて、**参加国が12か国**(日本、カナダ、米国、メキシコ、ペルー、チリ、ニュージーランド、豪州、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム)と多く、**GDPの合計が世界の約4割**と経済規模が極めて大きい。さらにタイ、インドネシア等も合流を検討していること。

② 高い関税撤廃率

日本からの輸出品に対して、11か国でほぼ100%撤廃(段階的撤廃を含む)。

③ 幅広い対象分野

モノの貿易以外にも、投資・サービスの自由化、貿易円滑化、政府調達、知的財産保護、中小企業支援など20以上の分野が対象となっており極めて広い。

ベトナムに関連する注目すべき主なポイント

★**関税の撤廃** 即時撤廃率 品目ベース70.2%
貿易額ベース72.1%

・水産物

ぶり・さば・さんまなど全ての生鮮魚・冷凍魚。現行18%が即時撤廃。現地CVS/GMSの販路を通じて対越輸出に大きな期待が持てます。

・酒類

特に日本酒現行59%が発効後3年目に撤廃。

・お茶 現行40%が発効後4年目に撤廃。

・味噌 現行20%が撤廃。

・乗用車(3000cc超) 現行64%が撤廃。

・建材用の鉄鋼 現行0-10%が撤廃。

★**コンビニ・スーパー等外資の小売業の2店舗目以降の出店規制緩和**

従来課されていた出店審査制度(経済テスト)が5年後に撤廃。外資の出店が加速され、その流通チャネルを通じての本邦製品の輸出が促進されることが大いに期待されます。

★**政府調達市場への参入機会が拡大**

インフラ輸出。従来、商社やごく一部の大企業が例外的に参入していた市場に対して、高品質な製品やサービスをもつ中小企業にもチャンスが生まれます。

★**商標・知的財産の保護**

模倣品・海賊版対策、営業秘密の確保にも改善が期待されます。

★**贈収賄を防止し貿易、投資を円滑化**

上記とあわせて、従来ベトナムで悩まされてきた商習慣の違い、グローバルスタンダードでのコンプライアンスや腐敗行為の除去に効果が期待されます。TPPを「外圧」として、ベトナム国有企業の優遇措置の廃止・風土の改革をベトナム政府も大いに期待していると言われていています。

★**ベトナム進出、更なる生産拠点化へ**

近年強まるベトナム市場への進出に加えて、従来からの生産拠点としてのメリットが更に強化されます。現在、例えば、靴のベトナムからの輸出額は、中国、イタリアに次いで世界第3位であります。米国の30%もある靴の関税が撤廃されることで、米国市場向けの生産拠点として重要視され加速化、すでにそれを見込んで米国ナイキ・ニューバランスなど有名ブランドが靴の製造工場を増設しています。6倍増という試算もあります。近年、ベトナムの労働者の賃金が上昇しているとはいえ未だ中国の半分以下であり、さらに対米ドルのベトナムドン安の基調ゆえ、日本も当然として世界的に中国への依存の相対的な低下が予想されます。さらにTPP加盟国内での原産地規則の完全累積制度を活用することで、サプライチェーン・バリューチェーンの見直しが可能となります。

航海士の掟として、「帆に風を受け、大きな潮の流れに乗りなさい」というものがあります。小職も長年の商社業界、コンサル業界での活動の中で、諸大先輩方に大きなトレンドを掴むことの重要性を教えていただきました。黒船にも例えられるTPPを自社のパラダイムシフトの絶好の機会として活用したいものですね。



首藤 章三

首藤インターナショナル(有) 代表

*経歴: 大倉商事、ニチメン九州(現双日)
*分野: ベトナム(東南アジア)、欧州(フランス) 進出
投資・貿易・マーケティング
中小企業診断士
シエトロ認定AIBA貿易アドバイザー

<http://shuto.jimdo.com/>

海外進出企業支援プロジェクト「今こそタイでビジネスを！」開催

2月18日(木)、タイ国際航空との共催で、海外進出企業支援プロジェクト「今こそタイでビジネスを！」を開催。タイ国際航空南日本区総支配人チョンナガン・アカラプリーディー氏の挨拶に始まり、まずは、タイ国政府観光庁マーケティングオフィサー富松寛考氏より、タイの基本情報「最新動向と日本(九州)タイビジネスの現状」と題し、タイの知られざる新たな観光地の数々や、タイの独特の文化、そして多様な食の魅力などについてお話いただいた。タイ国際航空南日本地区旅客営業部シニアセールスエグゼクティブ、泉屋和則氏には、タイ国際航空の紹介と航空ビジネスについて、航空会社の仕組みや普段は聞くことが出来ない裏話なども交えながら紹介いただいた。タイ国政府貿易センターマーケティングオフィサー、福田恭子氏からは、日本・九州との貿易概況および今後のタイ国政府商務省国際貿易振興局(DITP)の方針と題し、タイ貿易の詳細

と、日タイの貿易状況、またタイ国政府の貿易施策と今後の方針などについて、様々なデータを交えながら詳説いただいた。福岡銀行グローバルソリューション部バンコク駐在員事務所所長代理、結城健太氏からは、「知りタイ!聞きタイ!九州企業タイ進出の現状と新潮流(マーケットの魅力と課題)」と題し、ジェットロバンコクの詳細な情報等を交えながら、現役のタイ駐在員だからこそ出来る最新情報をご提供いただいた。最後は、元博報堂アジア・パシフィック代表取締役、江頭浩司氏による講演、タイおよび東南アジアのビジネス最新トレンドと今後の展望とすることで、タイを中心にした長期間の東南アジア滞在経験を基に、大局的な視点からの分析もあり、日タイビジネスを進める上で大変参考になる内容だった。またタイ料理が振る舞われた交流会にも、多くの参加者が集い、日・タイビジネスの話に花が咲いた。



セミナーの様子



タイ料理で、一層盛り上がった交流会

新 会 員 の ご 紹 介

株式会社正興C&E

代表者：代表取締役社長 園田 慶昌
所在地：〒812-0008 福岡市博多区東光2-7-25
TEL：092-473-9278
FAX：092-473-8829
URL：<http://www.seiko-ce.co.jp/>
主要業務：正興電機グループ製品全般、主に電気電子制御機器、電子応用装置の販売



当社の特色：当社は正興電機グループの一員として、永年にわたり培ってまいりました技術と経験をもとに制御機器、電子製品の販売を事業の中核に据え、事業を展開しております。また、急速なグローバル化の進展に伴い、中国・東南アジアを拠点に活動するグループ会社とも連携しながら、多様化、高度化するお客さまや社会のニーズにお答えするべく日々、新たなチャレンジに邁進しております。

正興ITソリューション株式会社

代表者：代表取締役社長 有江 勝利
所在地：〒812-0008 福岡市博多区東光2-7-25
TEL：092-473-2282 FAX：092-473-2338
MAIL：Info@seiko-denki.co.jp
URL：<http://www.seiko-itsolution.co.jp/>
主要業務：ソフトウェアの企画・開発およびその運用、保守ならびに販売



当社の特色：港湾を始めとして金融、文教、製造、流通等幅広い業界に向けて低コスト・短期間で高品質なクラウドサービスをご提供しています。培った高度な開発技術と豊富な実績をベースに、お客様のニーズに合わせたICT活用サービスをご提供します。昨年よりは、健康社員育成のための健康管理システムの提供も開始し、義務化されたストレスチェックと併せて、多くのユーザー様にご利用頂いております。

新 会 員 の ご 紹 介

正城通商株式会社

代表者：代表取締役 城間 正樹
所在地：〒838-0108 福岡県小郡市美鈴の杜1-17-6
TEL：0942-80-0790 FAX：0942-80-0789
MAIL：info@masaki-trade.com
URL：http://www.masaki-trade.com
主要業務：日本、中国、韓国を主とした下記商材の輸出入、販売
・電機、電器、電子機器製品および同部品、部材
・日用雑貨、スポーツ用品



当社の特色：

正城通商は、「信頼はすべての判断基準」として価値あるものをつなぎ、提供致します。
そして更なる新しい価値を創造し、お客様とパートナー企業の発展に貢献する企業を目指しています。
海外の事業パートナーは、中国、香港、韓国に事業拠点をもち、中国大手家電メーカー、グローバル電機メーカーと十数年の取引実績を有する貿易商社と業務提携しており、商品開発や商材選定、販路拡大を高いコストパフォーマンスで実現致します。



株式会社 JuneFirst

代表者：代表取締役 岩崎 哲行
所在地：〒812-0053 福岡市東区箱崎1-18-4
TEL・FAX：092-651-9537
MAIL：info@junefirst.jp
主要業務：アジア向け貿易業務
越境ECビジネスサポート
貿易のコンサルティング

当社の特色：

日本と中国、東南アジアの貿易業務を主に行っております。取引数が増大している中国の越境ECビジネスについてもスタートアップから販売ルートまでトータルにサポート致します。
専門職員による国際物流、取引の効率的なプランのコーディネートもっておりますので、アジア圏向けの商材取引についてお困りのことがございましたら、ぜひお問い合わせ下さい。

株式会社 オートコマース

代表者：代表取締役 宋 順喆
所在地：〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5-2-22
TEL・FAX：092-292-9068
MAIL：iismartbiz@gmail.com
URL：http://www.otoocommerce.com
主要業務：■越境eコマース事業
海外現地のオンラインを通じて日本の製品を世界各地へ輸販売
■国際配送代行
輸入・輸出された製品を現地へ配送、倉庫保管、返送などを対応



■海外進出支援

世界各地の大手モールと独自契約による日本メーカーの海外進出を支援(通関業務代行、各種認定取得サポート、翻訳サービス、倉庫貸出、物流支援など)

当社の特色：

弊社の親会社は1998年韓国で通関士の資格をもつ唯一の法人として設立しました。現在は7カ国(日本、アメリカ、中国、シンガポール、香港、台湾)に拠点を置いております。日本法人は去年9月に設立したばかりですが、長年の貿易ノウハウをもって、海外へ輸出したい方を全面的にサポートすることができます。通関・検疫の相談から、国際配送見積、国際決済を含む販路のご紹介までご提案します。お気軽にご連絡ください。

株式会社 ジェイティービー

代表者：取締役 経営企画部長 金子 和彦
所在地：〒140-8601 東京都品川区東品川2-3-11
(経営企画部・事業開発室)
TEL：03-5796-5879
FAX：03-5796-5623
URL：http://www.jtbcorp.jp/jp/
主要業務：旅行業、出版業、広告業、通関業、倉庫業、信用保証業、

両替業、資金移動業、飲食店業、ホテル業、商品券プリペイドカード発行業等

当社の特色：

旧鉄道院外客誘致部を前身として1912年に創業致しました。お客様の感動と喜びのために、JTBグループならではの商品・サービス・情報および仕組みをご提供し、地球を舞台にあらゆる交流を創造する「交流文化事業」をJTBグループの事業ドメインと定めて日々活動を展開しております。

シンクロジスティクス株式会社

代表者：代表取締役 一木 貴大
所在地：〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5-1-5
TEL：092-643-7710
FAX：092-643-7712
MAIL：info@sync-logi.com
URL：www.sync-logi.com
主要業務：国際物流コンサルティング、海運代理店業
貨物利用運送業、通関業、港湾運送事業



当社の特色：

福岡に本社を置き、中古車を中心に輸出業者様をサポートする当社。博多・大阪・名古屋・横浜の国内主要港における車両の保管、メンテナンス、コンテナ積み込み作業から、輸出検査、船舶予約、通関手続きまでトータルでコンサルティング。
世界中へ安全・着実に車両をお届けすることで、国内外の取引先から信頼を得てきました。
現在では、雑貨やパーツなど中古車以外のご依頼もいただき、多様化するお客様のニーズにこたえられるよう、サービス向上に努めています。

株式会社ホスピタブル

代表者：代表取締役 松清 一平
所在地：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30
TEL：092-432-1678 FAX：092-516-4647
MAIL：info@hospitable.co.jp
URL：www.hospitable.co.jp
主要業務：・韓国市場への日本商品小売、通信販売事業、輸出入
・韓国へ輸出する日本の商品・サービスの広告、販促、マーケティング事業
・韓国人多言語人材の日本企業への職業紹介事業



当社の特色：

貿易実務や海外営業に必須な英語と、社内コミュニケーションに不可欠な日本語が堪能な、3か国語対応できる韓国人人材を日本企業へ紹介しています。対象人材は主に新卒・第二新卒で、紹介実績は全国に50名超えます。2016年は5月、9月、11月に毎年弊社主催の合同企業説明会を韓国で実施しています。又、IT系を始め理系人材も複数取り揃えています。
対韓国の業務だけでなく、英語が必須な企業はすべてサービス対象です。若手人材採用が課題の企業様は一度ご相談下さい。在留資格まで一貫で対応します。

福岡県経営者協会

代表者：会長 竹島 和幸
所在地：〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6階
TEL：092-715-0562 FAX：092-781-4149
MAIL：fukuoka-keikyo@ace.ocn.ne.jp
URL：http://www.fukuoka-keikyo.jp/

福岡貿易会からのお知らせ

今年9月7日(水)～12月14日(水)の毎週水曜日(11月23日のみ祝日のため22日(火)実施)の日程で海外ビジネスで活躍出来る人材を育成する「福貿グローバル塾」(仮称、全15回)を開催します。現在企画推進中ですので、詳細が固まり次第公式HPなどでお伝えします。

4月20日(水)、第68回ゴルフコンペを伊都ゴルフ倶楽部で開催しました。

当日は晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和、和やかな雰囲気の中で、総勢37名での春のコンペとなりました。

次回は秋に開催予定です。奮ってご参加ください。

また、各社より多数の商品をご提供いただきました。ありがとうございました。



第18回 **貿易英語ひとくちメモ**
「英語に数字を!
&英語数値表現にご注意!!」

<兵法・英語二刀一流>末次通訳事務所 代表 末次 賢治

Hi there! Our dear Readers! How's everything?
 ビジネス場面で英語を使う際には、**1) 端的に物事を言う事、且つ、2) 数字を使う事**です!!

皆さんは、英語を使って意思疎通を図る際に、数字を使っていますか? ※ご存知ないでしょうか、英語と数学は100%密接な関係があります。どちらも元タイプが源流ですね。

自然と自発的に次のように数字が使えると良いです。数字を会話に織り込みましょう!

1) **新商品説明の際**は、「従来品対比で、作業効率が格段に向上」これを英語で云う場合、必ず数字が必要。例) [This new machine works 200% more efficiently than its former model.] 数字を使うと性能が目に見えます。改善数値を「割合」で云う方がより良いです。

2) **商談やプレゼンの際**に、聴いている側に、[Do you understand?] では、相手の本音が見えません。そこで、パーセントの数字を使い、[Do you 100% understand?] 更には、[Are you 100% convinced?] (100%=fully=しっかりご納得されましたか?) と尋ねるとより良いです。相手から本音を引き出せます。

3) **英語挨拶**でも [How are you?] や [How's everything?] と訊かれ、[I'm 70% OK.] と数字で返答すると、相手側に会話展開のきっかけを渡す事になり、話が弾みます。

4) **コンサルタント等業務**で、海外顧客に対して、[Are you 100% satisfied with our service?] 或いは [How much are you satisfied with our service?] と数字を使えば、相手側のホネが引き出せやすくなります。satisfyの代わりにhappyでも良いですね。

5) **数値表現の注意点**: more than 5は6以上。海外からのサンプル品要請で [We need more than 10 samples.] とあります。

必要数は【10個以上】でなく【11個以上】です:
 ※これは極めて大切な心得です! 覚えて下さい!
[more than 数字] の数字は勘定には入れません。

6) **数値表現/理解課題**: 米国旅行中、頭痛がし、現地の薬店で鎮静剤を購入: その注意書きに [Never take this medicine more than four times within 24 hours.] さて24時間以内に、何回迄、このお薬を飲んで良いでしょうか? =答えは【4回迄】です。正解の方に拍手! [More than fourは5以上] ですね。<5回以上はダメよ! =4回迄です!>

★次回は、【端的にモノゴトを言う】練習をします: その為の宿題です: 英語でどう云うでしょうか?

①海外のホテルに滞在中の貴方: 従業員に質問: 「すみません、こちらの水道水は飲めますか?」
 英語でどう云うでしょうか?

②博多駅構内で外国人から「すみません、福岡空港へはどうやって行くのでしょうか?」と尋ねられました。さあ、皆さんはどう英語で説明しますか? 次回までお考え下さい!

質問は何なりとどうぞ! Thanks for reading.

質問等は fuku@eos.ocn.ne.jpへどうぞ!

福岡貿易会からのお知らせ

今後開催予定のセミナー

※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

○ 通関・食品輸入手続き入門セミナー

【日時】 6月23日(木) 10:00 ~ 16:30
 【会場】 福岡商工会議所ビル 2階会議室
 【講師】 第1部: 門司税関博多税関支署
 第2部: 門司植物防疫所 福岡支所・動物検疫所
 門司支所博多出張所・福岡検疫所 食品監視課
 【内容】 第1部: 通関手続きの流れについて
 第2部: 植物、畜産物、食品等の輸入手続きと事前の準備等注意事項について
 【受講料】 無料

○ 国際取引実務と通関知識の基本

【日時】 7月20日(水) 9:30 ~ 16:30
 【会場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
 (博多区博多駅前二丁目9番28号)
 【講師】 中矢一虎法律事務所 代表 中矢一虎 氏
 【内容】 三国間取引の詳細、貿易実務に役立つ通関知識、等
 【受講料】 福岡貿易会会員: ¥3,000 一般: ¥6,000

○ 貿易価格算出の方法とノウハウ

【日時】 7月21日(木) 9:30 ~ 16:30
 【会場】 福岡商工会議所ビル2階 第2研修室
 (博多区博多駅前二丁目9番28号)
 【講師】 中矢一虎法律事務所 代表 中矢一虎 氏
 【内容】 海外販売戦略とEPA/FTA、輸出・輸入コスト計算(演習)、等
 【受講料】 福岡貿易会会員: ¥3,000 一般: ¥6,000

○ フィリピン新ステージ、激変するアジアビジネスの現在(仮)

【日時】 7月28日(木) 午後
 【会場】 福岡商工会議所ビル5階 501会議室
 (博多区博多駅前二丁目9番28号)
 【講師】 フィリピン共和国大使館、ジェトロ、フィリピン航空会社、正興ITソリューションフィリピン(株)
 【内容】 躍進を続けるフィリピン経済の可能性や様々なインセンティブの紹介、日本企業の進出体験談、等
 【受講料】 無料

○ 日中貿易のこれからと人民元の国際化の動向(仮)

【日時】 8月3日(水) 午後
 【会場】 福岡商工会議所ビル地下1階 B1-a会議室
 【講師】 株式会社 ジェイティーピーグループ本社他
 【内容】 日中貿易における新しい決済手法と対策について
 【受講料】 無料

○ 輸出入金融セミナー

【日時】 8月9日(火) 9:30 ~ 16:30
 【会場】 福岡商工会議所ビル4階 404-405会議室
 【講師】 (株)アースリンク 代表取締役 曾我しのぶ氏
 【内容】 貿易取引と外国為替、信用状の読み方、代金回収リスク及び為替変動リスクの回避等
 【受講料】 福岡貿易会会員: ¥3,000 一般: ¥6,000

○ 外航貨物海上保険セミナー

【日時】 8月25日(木) 14:00 ~ 16:30 (予定)
 【会場】 福岡商工会議所ビル 会議室
 【講師】 三井住友海上火災保険株式会社
 九州企業営業部 第三課
 【内容】 外航貨物保険の概要、事故発生時の手続き など
 【受講料】 無料

●発行/ 公益社団法人福岡貿易会 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階

☎ 092 (452) 0707 FAX 092 (452) 0700

上海代表処 上海市淮海中路398号 博銀國際大廈9樓B2

☎ 86-21-6385-8815 FAX 86-21-6385-8806

●発行日/平成28年7月11日 ●印刷/株式会社西日本高速印刷